

基本目標1 支え合い助け合い 『人』がつながるまちづくり

実現するために めざすこと	施策・事業	内容	令和2年度実績	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当部署
1 みんなで地域のつながりをつくる	1 高齢者の生活支援体制の整備	高齢者の生活支援・介護予防の推進を目的に、地域での生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向け、地区社会福祉協議会の再編を行い、「生活支援コーディネーター」や「協議体」を設置します。	①協議体の運営を社会福祉協議会へ委託し、日常生活圏域ごとに7名の生活支援コーディネーターを配置し、地域の課題や社会資源の開発等検討した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	①地域の課題、ニーズに対して、今後の施策に反映できるかが課題である。	維持	①健康支援課
	2 市民協働の推進	地域づくりや男女共同参画、NPO関連など、市民協働推進に関する事業をPRし、活動を促進します。	②市民活動応援サイト「みんなみんネット」を活用し、市民協働推進に関する事業をPRした。また、木更津市の中学校にて、「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」をテーマに、南房総地域の自治体と寸劇事業を実施した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	②みんなみんネットの活用利便性（操作方法、掲載内容）、閲覧者にとっての有用性（掲載内容、画面構成）の継続的な検証。	維持	②市民課
	3 「地域づくり協議会」への支援員の配置	「地域づくり協議会」に「地域づくり支援員」を配置し、地域のさまざまな活動団体等との連携を調整して、市民と行政の協働のまちづくりを推進します。	②地域づくり協議会の支援及び地域づくりプロデュースを担うため、地域づくり支援員を各地区2名（三芳地区のみ1名）の計13名を配置し、協働のまちづくりを推進した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	②地域づくり協議会メンバーの固定化や高齢化、活動のマンネリ化。	維持	②市民課
2 地域のさまざまな分野の機関とつながり、活動する	1 「地域づくり協議会」への支援	市の重点プロジェクトの一つである「協働のまちづくり」に向けて、「地域づくり協議会」に運営交付金を交付します。	②住民自らが考え主体的に行動する地域づくり協議会に、運営交付金を交付し支援することにより、地域の活性化が図られた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	②地域づくり協議会メンバーの固定化や高齢化、活動のマンネリ化。	維持	②市民課
	2 市民活動応援事業	市民の自主的で多様なまちづくり活動を応援するため、それぞれの活動レベル・内容・組織形態等に応じた支援を行います。	②市民活動団体・NPO等の活動支援として、市民提案型まちづくりチャレンジ事業補助金を9団体に交付した。また「ちくろ海の壁面再生美プロジェクト」として、地区住民や地元アーティストと協働し、千倉地区の海岸道路護岸を新たな観光スポットとして創出した。	○計画より進んでいる	②市民提案型まちづくりチャレンジ事業補助金の補助終了後の自立及び活動継続の支援。	維持	②市民課
	3 企業・起業家への支援	地域にしごとをつくり、ひとの流れをつくるため、企業・起業家に対する支援を行います。	⑥中小企業新事業及び雇用創出支援事業補助金 0件 起業家支援事業補助金 2件	▲見直し（計画変更等）	⑥既存の補助事業はニーズの変化から申請件数が年々減っているため、2つの補助事業を1つにまとめた補助事業を新設する。	拡充	⑥商工課
3 地域交流の場をつくる	1 老人クラブへの助成	高齢者の生きがいを高め、健康づくりを進める活動やボランティア活動等のさまざまな活動への助成や、高齢者の孤立を防止、地域での見守り支援や介護予防の促進を図るため、単位老人クラブ内に「友愛活動チーム」を組織し、ひとり暮らし高齢者等の家庭を訪問するなどの友愛活動への助成を行います。	①老人クラブ活動に対し、運営費等補助金を交付した。新型コロナウイルス感染症により連合会及び単位老人クラブの活動が計画通りできなかった。	○ほぼ計画どおり進んでいる	①会員数の減少による単位老人クラブ数の減少。	維持	①健康支援課
	2 コミュニティ集会所の建設・改修への助成	行政区から要望のあった集会所の新築工事、改修工事の費用の一部を助成し整備することで、地域コミュニティを育みます。	②地域のコミュニティの基盤を維持するため、地域コミュニティの活動拠点となる集会所の整備経費及び災害復旧経費に対し、補助金を交付した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	②新築・改修工事の補助上限額の見直し。	維持	②市民課
	3 地域子育て支援拠点施設の運営	妊娠前から幼稚園入園前までの親子が利用できる施設を運営し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行い、子育ての不安を和らげ、子どもたちの健やかな育ちを支援します。	⑨新型コロナウイルス感染症拡大防止のための1度目の緊急事態宣言解除後より、にこにこひろばやにこにこ教室、出張にこにこひろばを再開した。2度目の緊急事態宣言発令中はにこにこ教室は、中止とした。感染症対策として、午前中のにこにこひろばを年齢別に行っているが保護者のニーズは高い。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨現在、行うことができていない行事を感染症対策を行い、少しずつ実施していけるようにする。	維持	⑨子ども教育課
	4 公民館活動の推進	公民館・生涯学習推進員主催の各種講座や教室を企画・運営し、市民の生きがいづくりと福祉の増進を図ります。	⑩公民館・「まちの先生」の企画講座・生涯学習推進員の主催による各種講座を企画運営し、市民の生きがいづくりと福祉の増進を図った。 39講座84回を開催し、1,023名の参加を得た。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩新型コロナウイルス感染症による講座の中止や募集定員の削減により、開催回数や参加者数が減少したが、今後は「新しい生活様式」の中での展開可能な公民館活動を推進する必要がある。	維持	⑩生涯学習課

4 災害に備えた地域の連携体制を強化する	1 避難行動要支援者(要援護者)の支援	避難行動要支援者の名簿を作成して関係機関・関係者(民生委員・児童委員、自主防災組織等)に提供し、災害時の互助に役立てます。また、平常時から名簿を活用して対象者の状況を確認することにより、災害時に避難等が円滑に行われるよう備えます。	<p>②災害時に各地域センターが現地対策本部となることから、関係者(消防団、民生委員・児童委員、自主防災組織・行政区)と互いに連携するため、地域災害対応会議を開催した。また災害時を想定した安否確認訓練を実施した。</p> <p>④社会福祉課、健康支援課、市民課と協議の上、事業を実施した。</p> <p>①避難行動要支援者名簿の運営方法の見直しにより、対象者を把握した。</p> <p>②避難行動要支援者の対象者を真に避難支援が必要な方へ見直しを図った。また、避難行動要支援者名簿への掲載に不同意の意思を示した方以外の方は、同意がなくても推定同意として名簿掲載することとした。(公益上必要と個人条例保護審議会で認められたため。)見直しを図った避難行動要支援者名簿を関係支援者へ配付することができた。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	<p>②無</p> <p>④今後、役員が変更となる地区が毎年度発生するため、定期的な訓練や丁寧な引継が必要となる。</p> <p>①高齢者へ平常時から防災知識の啓蒙が必要である。</p> <p>②名簿掲載者の状況を確認する私の防災手帳について、詳細な運用方法が確定していない。今後、令和3年度の法律改正を反映した運用方法を確定していきたい。</p>	維持	<p>②市民課</p> <p>④消防防災課</p> <p>①健康支援課</p> <p>②社会福祉課</p>
	2 福祉避難所への受入委託	「地域防災計画」による「福祉避難所」について、締結した協定に基づき、高齢者福祉施設・障害者福祉施設への受け入れを委託します。	<p>③福祉避難所運営協定施設が1施設増えて、27か所となった。今年度は、大きな災害もなく、受入要請を依頼することはなかったが、福祉避難所開設基準に達した場合は、開設要請を行っている。</p> <p>令和2年度開設要請 1回</p> <p>また、福祉避難所運営マニュアル【別冊】新型コロナ対策感染症対策編を作成した。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	<p>②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた福祉避難所の開設について、福祉避難所協定施設と協議していない。今後、作成した【別冊】新型コロナ対策感染症対策編について、協議していきたい。</p>	維持	②社会福祉課
	3 防災環境の整備と自主防災組織への助成	災害発生に備え、必要な防災備蓄品や備蓄倉庫、避難路の整備や避難場所標識の設置等、防災環境を整備します。また、自主防災組織に補助金を交付します。	<p>④備蓄倉庫の新設・更新を令和3年4月以降に9箇所実施するとともに、期限の切れる非常食については年度内に更新(12,000食)を実施した。</p> <p>本年度は富山地区の避難所看板2箇所の更新を実施した。</p> <p>自主防災組織への補助金は、30行政区に交付した。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	④次年度は三芳地区の避難所看板を更新予定	維持	④消防防災課
5 外出に困らない地域をつくる	1 外出支援サービス事業の検討	外出支援サービス先進地の取り組みについて調査し、新たな外出支援の仕組みについて検討します。	<p>①公共交通の観点から、地域懇談会やアンケート調査等によりニーズ把握を行った。</p> <p>②社会福祉協議会へ委託している生活支援体制整備事業の協議体や地域ケアチーム会議で高齢者の移動手段の確保が地域課題であるという共通認識をした。</p> <p>③外出支援や買い物支援について、関係各課との協議を実施し、今後の取組について検討を開始した。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	<p>①公共交通としての取り組みと福祉的な観点からの取り組みについて調整を図る必要がある。</p> <p>①引き続き、協議体や地域ケアチーム会議で地域課題として検討する必要がある。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により民間事業者の事業休止や先進地への視察が実施できないなど、今後進捗が鈍る可能性がある。</p>	維持	<p>①企画財政課</p> <p>①健康支援課</p> <p>②社会福祉課</p>
	2 外出支援への助成	外出が困難な非課税世帯の高齢者がタクシーまたはバスを利用する場合に、その料金の一部または全部を助成します。	<p>①令和2年度から外出支援バス利用助成券について、1枚150円、50枚を限度から1枚160円、60枚を限度に変更し、事業の拡充を図った。また、同様にタクシー利用助成事業についても1枚670円、15枚を限度から1枚700円、25枚を限度とし、事業の拡充を図った。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	①新たな移動困難者の支援施策について、今後も検討が必要である。	維持	①健康支援課
	3 市営路線バスの維持管理	市民の生活路線である市営路線バス(富浦線・富山線)の維持管理や改善を行います。	<p>①市営路線バス(富浦線・富山線)について、バス事業者に業務委託をして運行及び管理を行った。また、富浦線については、車両を小型ノンステップ(低床)バスに更新して利用者の利便性向上を図った。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	①人口減少やコロナ禍の状況により、市民や来訪者の利用が減少している。	維持	①企画財政課
	4 地域生活路線バスの維持	利用者の減少により存続が危ぶまれるバス路線を維持するために、事業者に補助を行います。民間事業者が廃止した路線を、廃止代替路線としてバス運行します。	<p>①赤字路線である4路線について、バス事業者に運行経費から収益を差し引いた金額を関係自治体との距離按分により補助を行った。バス事業者が廃止した2路線について、廃止代替路線として運行を行った。</p> <p>南房総・館山地域公共交通活性化協議会により、ニーズ把握や路線の再編を検討するため、実証運行及び乗降調査を行った。</p>	○ほぼ計画どおり進んでいる	①人口減少やコロナ禍の状況により、市民や来訪者の利用が減少している。	維持	①企画財政課

6 福祉活動への意識を高め、担い手を増やす	1 福祉教育の推進	小・中学校での福祉教育を推進します。また、市民にも福祉教育の普及を図ります。	<p>⑨総合的な学習の時間において、現代的な諸課題の1つとして取り組んでいる学校もある。</p> <p>⑩新型コロナウイルス感染症感染防止のため、啓発活動や行事を実施することができなかった。</p>	<p>◎ほぼ計画どおり進んでいる</p> <p>⑫△計画より遅れている</p>	<p>⑨教育課程は各学校の計画であるため、全ての学校で必修化はできない。</p> <p>⑫コロナ禍での活動をどのように行うかという点。</p>	維持	<p>⑨子ども教育課</p> <p>⑩社会福祉課</p>
	2 青少年赤十字活動への助成	「青少年赤十字活動」を行う学校に補助金を交付します。	<p>⑫新型コロナウイルス感染症感染防止のため、学校での赤十字活動や日本赤十字社千葉県支部の研修・講習会が全て中止となり、活動できなかったことから補助金の申請がなされなかった。</p>	△計画より遅れている	<p>⑫コロナ禍での活動を考えていただけるかと市内に青少年赤十字活動を実施する学校がない点。今後、実施に向けて働きかけを行いたい。</p>	維持	⑫社会福祉課
	3 介護人材の確保	介護職の人材確保、質の向上を目的に介護職員初任者研修または実務者研修に要した費用の一部を助成します。また、市内の介護施設等で介護福祉士として従事しようとする人に、修学資金を貸付けます。外国人材の育成・確保について検討します。	<p>⑪介護職員初任者研修または実務者研修に要した費用の一部を助成した。</p> <p>申請件数 10件</p> <p>介護施設等で介護職として従事しようとする人に、修学資金を貸付けを行った。</p> <p>申請件数 1件</p>	◎ほぼ計画どおり進んでいる	<p>⑪介護人材確保のための新たな施策について検討。</p>	維持	⑪健康支援課